



平成 18 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 18 年 11 月 10 日

会社名 チムニー株式会社

(JASDAQ・コード番号：3362)

(URL <http://www.chimney.co.jp>)

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 和泉 学 TEL：(03) 3626-2341 (代表)  
責任者役職 氏名 常務取締役経本部長 山口 実

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : (有) 無  
税金費用の計上基準  
法定実効税率をベースとした見積実効税率を計上しております。
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : (有) 無  
少額減価償却資産の一括償却処理  
少額減価償却資産 (10 万円以上 20 万円未満) につきまして、当期より一括償却処理をおこなっております。この結果、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益、及び税引前第 3 四半期純利益は、それぞれ 63 百万円減少しております。
- ③ 持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (無)

2. 平成 18 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 12 月期第 3 四半期	20,013	(35.2)	1,570	(39.6)	1,650	(43.7)	885	(48.8)
17 年 12 月期第 3 四半期	14,805	—	1,125	—	1,148	—	595	—
(参考)17 年 12 月期	21,026		1,711		1,746		856	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 12 月期第 3 四半期	106	74	—	—
17 年 12 月期第 3 四半期	149	16	—	—
(参考)17 年 12 月期	208	29	—	—

- (注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
3 平成 17 年 12 月期第 3 四半期は、四半期決算導入初年度であるため、前年同四半期の増減率につきましては記載しておりません。  
4 平成 18 年 2 月 20 日をもって普通株式 1 株を 2 株に分割しております。  
5 平成 18 年 12 月期第 3 四半期の 1 株当たり情報は、株式分割後の株式数により算出しております。  
6 平成 17 年 12 月期第 3 四半期、および平成 17 年 12 月期は潜在株式がないため記載しておりません。また、平成 18 年 12 月期第 3 四半期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
7 株式分割が前期首におこなわれたと仮定した場合の平成 17 年 12 月期第 3 四半期の 1 株当たり四半期純利益は 74 円 58 銭であります。また、平成 17 年 12 月期の 1 株当たり当期純利益は、104 円 14 銭であります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

第 3 四半期の売上高につきましては、組織変更、および直営本部の組織変更による営業力の強化により既存店の前年比は計画以上の推移をすることができ、第 3 四半期末の直営店の既存店前年同期比は 99.4%となりました。また、全店では前年同期比 138.1%で推移しております。さらに F C 部門におきま

しても、第3四半期末現在、19店舗のFC店への切替（FC店から直営店へ6店舗の切替）をおこなっております。

新規出店におきましては、55店舗の出店（11店舗の閉鎖）をおこない、第3四半期末の店舗数は348店、うち直営店が171店舗、FC店が177店舗となりました。

また、当四半期におきましては大阪オフィスを開設し、関西方面、および西日本方面の営業拠点として本格的な活動を開始いたしました。新業態開発では、海鮮料理に特化した「さかなや道場」両国清澄通り店を開店するとともに、当店の一部を利用し、知夢仁道場の分校として海鮮料理の教育をおこなっております。

以上の結果より、第3四半期の業績は、売上高20,013百万円（前年同期比35.2%増）、営業利益1,570百万円（前年同期比39.6%増）、経常利益1,650百万円（前年同期比43.7%増）、第3四半期純利益が885百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

## （2）財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期第3四半期	15,334	4,646	30.3	559 83
17年12月期第3四半期	9,772	3,578	36.6	862 29
(参考)17年12月期	12,740	3,839	30.1	921 18

## 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年12月期第3四半期	2,455	△1,409	△844	4,505
17年12月期第3四半期	772	△965	529	2,619
(参考)17年12月期	3,026	△1,294	288	4,303

- (注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2 平成18年2月20日をもって普通株式1株を2株に分割しております。  
 3 平成18年12月期第3四半期の1株当たり情報は、株式分割後の株式数により算出しております。  
 4 株式分割が前期首におこなわれたと仮定した場合の平成17年12月期第3四半期の1株当たり純資産は、431円14銭であります。また、平成17年12月期の1株当たり純資産は、460円59銭であります。

## [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

### ①財政状態の変動状況

財政状態につきましては、総資産が15,334百万円となり前期末と比較し、2,593百万円増加いたしました。増減の主な内容として、店舗の出店等に伴う有形固定資産の増加が1,544百万円、差入敷金保証金の増加が831百万円あったこと等によります。

負債におきましては、新規出店に伴う長期設備未払金の増加が685百万円、設備未払金の増加が423百万円あったこと、短期借入金が500百万円増加したこと等により、前期末より1,786百万円増加し、10,687百万円となりました。

純資産におきましては、第3四半期までの純利益による885百万円の増加等により、前期末より806百万円の増加し、4,646百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの変動状況

現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の第3四半期末残高は4,505百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税引前第3四半期純利益が1,555百万円、減価償却費が653百万円あった一方で、FC債務が116百万円減少したこと等により、2,455百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店に伴う保証金の差入による支出が998百万円、固定資産の取得による支出が419百万円あったこと等により、1,409百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、割賦債務の返済1,179百万円、長期借入金の返済106百万円等の支出があった一方で、短期借入による収入が500百万円あったこと等により、844百万円の減少となりました。

[参 考]

平成 18 年 12 月期の業績予想（平成 18 年 1 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	28,000 <small>百万円</small>	2,300 <small>百万円</small>	1,200 <small>百万円</small>

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 144 円 57 銭

(注) 業績予想における (参考) 1 株あたりの予想当期純利益 (通期) につきましては、平成 18 年 2 月 20 日の株式分割 (1 : 2) が期首におこなわれたものとして、算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

第 3 四半期終了時点 (2006 年 9 月 30 日) におきまして、当初の計画の前倒しにより新規に 55 店 (年間計画 60 店) を出店し、直営店舗が 171 店 (年度計画 169 店) となっております。

また、通期の既存店売上前年比も 99.4% と、当初の計画以上の推移をしているとともに、9 月 1 日付でおこなった組織変更、および人事異動により、社内体制の強化、店舗における営業のバックアップ体制の整備がおこなわれ、既存店、新店ともに営業力のアップが図られてまいりました。海鮮料理に特化した「さかなや道場」開店による、海鮮の専門集団化効果も徐々に始まっております。

さらに、大型ターミナル駅である横浜駅、新宿駅への出店が、9 月、10 月とおこなわれ、順調な売上推移しております。商品関係では、「はなの舞」のグランドメニュー変更、冬の旬メニューの導入、忘年会シーズンに向けた特別宴会メニュー等、最大商戦である 12 月に向けた十分な取り組みを計画しております。

そこで、第 3 四半期までの結果と第 4 四半期の予想推移を検討した結果、平成 18 年 8 月 10 日に公表いたしました業績予想を、上記のように上方修正いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 第3四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)		前四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)		増減 金 額	(参考) 平成17年12月期	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)		金 額	構成比(%)
<b>(資産の部)</b>							
<b>I 流動資産</b>							
1 現金及び預金	4,561		2,664			4,350	
2 売掛金	167		93			140	
3 F C 債権	162		149			166	
4 たな卸資産	140		109			154	
5 その他	727		523			770	
貸倒引当金	△59		△83			△70	
流動資産合計	5,700	37.2	3,455	35.4	2,245	5,513	43.3
<b>II 固定資産</b>							
1 有形固定資産	5,115		2,857			3,571	28.0
(1) 建物	4,645		2,635			3,292	
(2) その他	470		221			278	
2 無形固定資産	145		142			140	1.1
3 投資その他の資産	4,392		3,317			3,515	27.6
(1) 差入敷金保証金	4,002		3,004			3,171	
(2) その他	390		313			343	
貸倒引当金	△20		—			—	
固定資産合計	9,633	62.8	6,316	64.6	3,316	7,227	56.7
資産合計	15,334	100.0	9,772	100.0	5,561	12,740	100.0
<b>(負債の部)</b>							
<b>I 流動負債</b>							
1 買掛金	1,910		737			1,861	
2 F C 債務	311		276			428	
3 短期借入金	500		—			—	
4 一年内返済予定長期借入金	142		142			142	
5 未払金	1,496		602			1,232	
6 設備未払金	1,160		653			737	
7 賞与引当金	114		117			37	
8 役員賞与引当金	16		—			—	
9 その他	796		802			959	
流動負債合計	6,448	42.1	3,333	34.1	3,115	5,398	42.4
<b>II 固定負債</b>							
1 長期借入金	143		286			250	
2 退職給付引当金	18		11			13	
3 役員退職慰労引当金	44		38			39	
4 長期設備未払金	3,219		1,945			2,534	
5 預り保証金	701		548			625	
6 その他	111		30			39	
固定負債合計	4,239	27.6	2,860	29.3	1,378	3,502	27.5
負債合計	10,687	69.7	6,193	63.4	4,493	8,900	69.9
<b>(資本の部)</b>							
<b>I 資本金</b>	—		900	9.2		900	7.1
<b>II 資本剰余金</b>	—		1,215	12.4		1,215	9.5
<b>III 利益剰余金</b>	—		1,462	15.0		1,724	13.5
資本合計	—		3,578	36.6		3,839	30.1
負債及び資本合計	—		9,772	100.0		12,740	100.0
<b>(純資産の部)</b>							
<b>I 株主資本</b>	4,646	30.3					
1 資本金	900	5.9					
2 資本剰余金	1,215	7.9					
3 利益剰余金	2,531	16.5					
株主資本合計	4,646	30.3					
純資産合計	4,646	30.3					
負債及び純資産合計	15,334	100.0					

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 第3四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)		前四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)		増減 金 額	(参考) 平成17年12月期	
	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)		金 額	百分比(%)
<b>I 売上高</b>	20,013	100.0	14,805	100.0	5,207	21,026	0100.0
<b>II 売上原価</b>	7,024	35.1	5,403	36.5	1,621	7,619	36.2
売上総利益	12,988	64.9	9,402	63.5	3,586	13,407	63.8
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	11,418	57.1	8,277	55.9	3,140	11,695	55.7
営業利益	1,570	7.8	1,125	7.6	445	1,711	8.1
<b>IV 営業外収益</b>	152	0.8	90	0.6	62	119	0.6
1 受取利息	17		17			24	
2 受取手数料	50		33			45	
3 その他	85		38			49	
<b>V 営業外費用</b>	73	0.4	67	0.4	6	84	0.4
1 支払利息	69		43			60	
2 その他	3		23			24	
経常利益	1,650	8.2	1,148	7.8	501	1,746	8.3
<b>VI 特別利益</b>	53	0.3	34	0.2	19	34	0.2
1 固定資産売却益	0		1			1	
2 その他	53		32			32	
<b>VII 特別損失</b>	148	0.7	153	1.0	△5	283	1.4
1 固定資産売却損	0		—			0	
2 固定資産除却損	108		45			144	
3 その他	39		107			139	
税引前第3四半期(当期) 純利益	1,555	7.8	1,029	7.0	526	1,496	7.1
税金費用	669	3.4	433	3.0	236	640	3.0
第3四半期(当期)純利益	885	4.4	595	4.0	290	856	4.1

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 3. (要約) 株主資本等変動計算書

第3四半期会計期間(自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成17年12月31日残高	900	1,215	1,215
当会計期間中の変動額			
剰余金の配当			
剰余金の配当(中間配当額)			
利益処分による役員賞与			
第3四半期純利益			
当会計期間中の変動額合計			
平成18年9月30日残高	900	1,215	1,215

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
	繰越利益剰余金			
平成17年12月31日残高	1,724	1,724	3,839	3,839
当会計期間中の変動額				
剰余金の配当	△20	△20	△20	△20
剰余金の配当(中間配当額)	△41	△41	△41	△41
利益処分による役員賞与	△17	△17	△17	△17
第3四半期純利益	885	885	885	885
当会計期間中の変動額合計	806	806	806	806
平成18年9月30日残高	2,531	2,531	4,646	4,646

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. (要約) 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)	前四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)	増減	(参考) 平成17年12月期
	金 額	金 額		金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税引前第3四半期(当期)純利益	1,555	1,029	526	1,496
減価償却費	653	362	291	541
減損損失	—	—	—	61
長期前払費用償却費	101	65	35	112
賞与引当金の増減額(減少:△)	76	95	△18	15
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	16	—	16	—
退職給付引当金の増減額(減少:△)	5	△1	6	△0
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	4	7	△3	9
貸倒引当金の増減額(減少:△)	9	△25	35	△39
受取利息	△17	△17	0	△24
支払利息	69	43	25	60
固定資産除却損	108	45	63	144
固定資産売却益	△0	△1	1	△1
固定資産売却損	0	—	0	0
売上債権の増減額	△26	2	△29	△44
たな卸資産の増減額	14	△0	14	△46
F C債権の増減額	3	35	△32	19
仕入債務の増減額	48	△637	686	485
F C債務の増減額	△116	△24	△92	127
未払金の増減額	64	△172	236	386
その他	880	609	271	388
小 計	3,451	1,417	2,033	3,694
利息の受取額	17	17	△0	24
利息の支払額	△70	△43	△26	△60
法人税等の支払額	△918	△453	△464	△453
その他	△24	△165	141	△179
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,455	772	1,682	3,026
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入れによる支出	△33	△9	△24	△45
定期預金の払戻しによる収入	24	—	24	33
固定資産の取得による支出	△419	△250	△169	△336
固定資産の売却による収入	1	3	△2	3
固定資産の除却による支出	△41	△23	△18	△55
保証金の差入による支出	△998	△736	△262	△936
差入保証金の返還による収入	90	40	50	47
その他	△30	9	△40	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△965	△443	△1,294
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入による収入	500	—	500	—
短期借入金の返済による支出	—	△550	550	△550
長期借入金の返済による支出	△106	△106	—	△142
株式の発行による収入	—	1,747	△1,747	1,747
配当金の支払額	△58	△37	△20	△37
割賦債務の返済による支出	△1,179	△523	△655	△729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844	529	△1,374	288
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	201	336	△134	2,020
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,303	2,282	2,020	2,282
<b>VII 現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高</b>	4,505	2,619	1,885	4,303

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 4. 仕入及び販売の状況

##### (1) 仕入実績

部門別の仕入実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別の名称	当第3四半期会計期間 (自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)	前第3四半期会計期間 (自 平成17年1月1日 至 平成17年9月30日)	前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)
直営店部門	4,757	3,530	4,968
食材供給部門	2,043	1,637	2,379
F C 部門	247	265	361
合計	7,048	5,432	7,709

- (注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2 金額は、仕入価格によっております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (2) 販売実績

部門別の販売実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別の名称	当第3四半期会計期間 (自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)	前第3四半期会計期間 (自 平成17年1月1日 至 平成17年9月30日)	前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)
直営店部門	16,230	11,759	16,747
食材供給部門	2,484	2,081	2,890
F C 部門	1,298	964	1,387
合計	20,013	14,805	21,026

- (注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。